



真青の空

練馬区立

石神井西中学校学校だより

令和7年4月11日(金)第1号

校長 小林 寿典

ご入学おめでとうございます。

本年度より本校の校長として自校での昇任となりました小林寿典です。どうぞよろしくお願いいたします。始業式、入学式での生徒の皆さんの凛とした姿勢に、石神井西中学校のよき伝統と新しい爽やかな風を感じました。学校だよりのタイトルは校歌にも歌われる「真青の空」としました。今回は、入学式の校長式辞を抜粋にて掲載いたします。

令和7年度 入学式 式辞

今、この壇上から皆さんの姿を観て「今日から中学生として頑張ろう」という意気込みを感じます。そして、小学校でしっかりと頑張ってきたことがよく分かります。きっと素晴らしい中学生になってくれると期待しています。さて、これから3つ質問をします。答えはあなたが心の中で答えてください。①中学生になったら、自分のことは必ず自分でしなければいけないでしょうか。②中学生になったら、苦手な人でも仲良く過ごさなければいけないでしょうか。③中学生になったら、意地悪をしてくる人には関わらない方がよいでしょうか。人は、いろいろな考え方があり、人それぞれ違ってよいと思います。まずは自分で考えた方法でやってみる。というのも方法の一つです。ただ、上手に学校生活を送っている人は少し違います。「どうしても自分の悩みが解決できなかったら、ほかの人にヒントをもらうことも大事です。」「苦手な人がいたら、よい面を探して評価してあげることも必要です。」「意地悪をしてくる人とも全くなかわらないことは難しいです。その時になぜその人が意地悪をするのかという理由を知って話し合うことも必要です。」「そして、家族や先生、仲間たちに悩みを打ち明けられることがとても重要です。これができるようになると、あなたは素晴らしい仲間にも恵まれ、自立した行動が知らないうちにできるようになるでしょう。何もなかったら、何も生まれず成長もできません。

中学校は、身体を鍛え、頭を磨き、心を豊かにする場です。「大人になるための学校」と言ってもよいでしょう。部活動、勉強、友人関係など、小学校よりも、より複雑になってきます。思い通りに行かないこともあるでしょう。うまくいかないこともあるでしょう。そこで、あきらめずに新しいことに全身で向き合って自分の世界を大きく広げてください。大切なのは、自分のことばかりでなく、時・場所・立場を考えて、仲間の気持ちを思い、行動することです。

石神井西中学校は「生徒が主体的に活動する」ということをとても大切にしています。石神井西中学校での主体的というのは、自分の意志や判断に基づいて行動することだけではなく、仲間と一緒に仲間のためにお互いを高めあっていくことを指しています。積極的な人だけでなく、なかなか一歩踏み出せない人たちのことも考え、仲間と共に成長していくことを指します。今日という出会いを大切に、人と人との触れ合いの中でぜひ中学校生活を充実したものにしてほしいと心から願っています。

保護者の皆様に申し上げます。中学校生活の三年間は、ご自身も経験されたように、心身ともに大きく成長する時期であり、その成長のためにさまざまな困難や苦悩が訪れる時期でもあります。人間としての成長と、義務教育最後の三年間でのそれぞれの成長や進路希望の実現のためには、保護者の方々が同じ方向を向いていくことが必要であると考えております。どうぞ、ご理解とご協力をお願い申し上げます。私達教職員一同、保護者の方と力を合わせ、全力で教育を推進してまいります。

令和7年4月8日 練馬区立石神井西中学校長 小林 寿典

新しい副校長先生からの挨拶

皆様初めまして。今年度本校に着任した 大沼 俊太郎 と申します。前任校は練馬区立練馬中学校です。どうぞよろしくお願いいたします。

素晴らしい校風、そして歴史と伝統ある本校に着任して身が引き締まる思いです。始業式での生徒主体の校歌練習、式中の落ち着いた態度・姿勢、始業式での吹奏楽部による演奏、有志による校歌斉唱、生徒の力を肌で感じることができました。

これまでの石神井西中学校の流れを大切にしながら、より良い学校になるよう皆様と一緒に力を合わせて最善を尽くして参ります。